**Veritas 2160BLスマートミキサーアンプ**

設計者とエンジニアのための仕様概要

2025年6月

本製品は、48 kHz、24ビットのデジタル信号処理アーキテクチャを備えたD級増幅方式を採用しています。スイッチング電源が採用されており、50/60 Hzで100～240 V（±10%）のAC電源で動作します。着脱可能な電源コードを備えたIEC C14電源インレットが付属します。フロントパネルに電源スイッチが搭載されています。自動スタンバイモード機能を備え、機能を有効や無効にできます。

短絡や一般的な過熱に対する保護機能を備えています。ファンを使った通気システムを備えており、左から右へと常に空気が流れる構造になっています。

2つの出力チャンネルを搭載し、4～8Ωのローインピーダンスシステムを駆動できます。出力は、4Ωで160 W/チャンネル、8Ωで80 W/チャンネルです。スピーカーの出力端子用に2口の2ピンユーロブロックコネクターが用意されています。AUXラインの出力用に2口のRCAコネクターが用意されています。デジタルシグナルプロセッサーには、スピーカー出力とAUX出力に適用できる選択可能なEQのプリセットが用意されています。

本製品には4つのラインレベル入力（RCAステレオペア x 2、5ピンユーロブロックコネクター x 2）、ブルートゥースワイヤレス信号入力、ページングマイク入力（4ピンユーロブロックコネクター x 1）が備わっています。フロントパネルのスイッチからラインレベル入力とブルートゥース信号入力を選ぶことができます。背面にページングマイク入力、リアパネルにしきい値調整ノブを備え、音声起動（VOX）やプッシュトゥトーク（PTT）機能に対応したダイナミックマイクをサポートします。マスターボリュームコントロールからページングマイク入力を制御するか、バイパスするかを指定できる設定が用意されています。ブルートゥース信号入力を除くすべての入力に、独立した入力ゲインコントロールを備えています。

本製品の周波数特性は20 Hz～20 kHz（+0/-3 dB）です。定格出力時のTHD+Nは0.5 %以下です。チャンネル分離（クロストーク）は、1 kHzにおいて定格出力より-58 dB以下です。ダイナミックレンジは88 dBです。入力レベルは、ラインレベル入力で-8 dBu、ページングマイク入力で-58 dBuです。

フロントパネルには4つのLEDが搭載されており、それぞれ、電源やスタンバイの表示、入力レベルの信号の有無やクリッピングの表示、出力レベルの信号の有無やクリッピングの表示、ブルートゥース接続状況の表示に使用されます。

本製品の各種設定は、フロントパネルのOLEDディスプレイとロータリーエンコーダーからメニューやインターフェースを操作して調整します。追加の設定はリアパネルのDIPスイッチから指定します。

Bose Professional ControlCenter CC-1/CC-2アナログコントローラー用のポートを1つ備えています。外部のドライ接点を使用することで、スピーカー出力とAUX出力をミュートするMUTE接点を装備しています。

本体ケースは塗装鋼板です。高さは1RUまたは44 mm（1.7インチ）、幅は483 mm（19.0インチ）（EIA標準ラックマウント向け）です。奥行きは324 mm（12.8インチ）です。重量は4.4 kg（9.7ポンド）です。

正式名称はVeritas 2160BL smart mixer amplifierです。